

瓦理論とパーマカルチャー

文 = 天狼今輝

20世紀は瓦を縦に重ねた時代です。クラスで1番 会社で1番 ワールドカップで1番。縦に重ねた瓦の下にはひとりしか憩えません。そして2〜3枚欠けても問題ありません。

瓦は縦に重ねるのでなく横に重ねる。それも30パーセント重ねて横に並べると、雨の漏らない1番広い面積ができます。また1枚欠けても雨が漏ります。どんなものも存在価値があります。またたくさんの方が憩うことができます。

縦型から横型に。リーダー型からパートナーシップの時代に。ダーウィンの進化論から今西錦司さんの弱者も住める棲み分け論の時代に。トラとライオンは争いせん 片や林に片や草原に住み分けているからです。草だって虫だって役割があります。奪い取る時代から分かち合う時代へ。

アメリカンドリームを達成したビルゲイツ。素晴らしい経営者です。片やリナックスという組織があります。すべてのソースを解放してみんなでおす。使ってもらえることが自分の喜びという資本主義の根底を覆す考えです。今では多くの人たちがリナックスのサーバーを無料で使わせてもらっています。与え合う世界です。これは人を幸せにします。

資本主義は物の豊かさを生みました。それは自然と第3国が犠牲となって成り立っている仕組みです。そろそろこの仕組みを変える時期に来ています。日本人の暮らしを世界中の人がすると地球が2・5個必要です。持続可能ではありません。

21世紀は分けたものが再び合う時代。分かち合いの時代です。そして本物が評価されつながりを取り戻す時代です。分断して競争する仕組みから 融合して共生する時代を迎えています。まさにパーマカルチャーはそのつながりを取り戻す仕組みなのです。

Imagine all the people living life in peace
人々が平和に暮らしているところを想像してこらん。

LOVE ALL SERVE ALL

あなたと私はばらばらで別々なんだという考えは分離対立を生みました。分離することにより専門化が進み効率も良くなり物質的には豊かになりました。しかし 個人の利益の追求、競争は人を幸せにはしませんでした。分離の時代は終わりました。これからはひとつに溶け合う時代です。あなたと私。宇宙も全てがひとつなのです。

写真：冬の朝日（安曇野）

命はひとつ

文 天狼今輝

我々名を持った個人は川にたとえられると思います。滴が集まり川になりますがここで初めて名前が付きます。名を持つことによって区別が生まれます。本当は同じ物なのに分別が生まれます。ジョン・レノンが国がないことを想像してこらんと歌います。そうなのです。全てが同じ命なのです。

川の名は「あなた」という名かもしれません。この名を持つことによって自我が形成され執着を生み出します。自我は個性を生み、多様化し、創造を生みます。人が成長するときには必要であり重要です。急流だった川も大きくなることによってゆっくり流れます。平野を潤し役にも立ちます。人の晩年かもしれません。川は海に入ることによって名前がなくなります。たくさんさんの命が海で一緒になります。表層にいるものは風にあられ波となります。でも深海にいるものは嵐の影響も受けずに深海で心静かにいられます。悟った人の姿かもしれません。そして光に導かれ見えない天空に行く命もありまた地上に来る命もあります。これが輪廻転生です。



一根万葉 葉隠れ
上野玄春・作品

目に見えない蒸気は空気中に存在します。川と同じ時空にいるのです。ある時太陽、光に導かれ水滴となり命を育みます。今度は私になるのかもしれませんが。水滴には海、光と同じ記憶があります。宇宙意識、純粹意識、深層心理、仏、大いなる命なのかもしれません。命はつながっているのです。あなたと私はつながっており、海は神の世界です。山と海すべてを結ぶもの、それは海の記憶を持ったあなたの心なのです。地球の生きとし生けるもの、宇宙はひとつなのです。



PEACE

ジョンレノンは歌います。国がないということ想像してこらん。それは決して難しい事じゃない。個別の宗教も殺し合うということも必要ない。みんなが幸せに生活していることを想像してこらん。

人生は川なのかもしれません。短い川もあり長い川もあります。澄んだ川もあり濁った川もあります。激流もあればとうとうと流れる川もあります。暴れ回るときもあれば大地を潤すときもあります。でも全てが来れば大海と一緒にあります。命はひとつです。



曼荼羅